

7月号他ページの主な記事
2面 6支・妙玉寺 住職就任式を奉修、5支・高立寺 新本堂開堂式を厳修
3面 2支・南大阪布教区 教養大会を開催、薫化部会の行事
4面 第一支庁がワイ団参、第五支庁のロス団参
5面 東日本大震災 復興への植多賀城弘妙寺、郡山遠泉寺、いわき妙蓮寺
6面 写真・新佛立会館無事に竣工！ 11支・神戸布ファミリーデー開催
7面 特稿・新佛立会館無事に竣工！ 檀大僧正列伝⑦
8面 9支・第2回佛立教務体験教室を盛大に開催
9面 2支・妙光寺 教務ご奉公体験、宇都宮遠敬寺 本堂再建の祈願助行
10面 このよびをあなたとともに：遠妙寺フィリピン教区 黒柳ジャネットさん
11面 佛立この人 文科大臣賞受賞 1支・本山有清寺 別所清氏、長沢光子さん
12面 門祖日隆聖人物語⑦、ニュース短信

本門佛立宗務機関紙



佛立新聞

THE BUTSURYU SHIMBUN

平成24年7月1日発行
発行所 本門佛立宗務本庁
京都市上京区御前通一条上 東豊町110番地(〒602-8377)
電話 (075)461-1166(代)
振込口座 京都 18650
発行人 藤本日浦 / 編集人 橋口清遠
購読冥加料 一部 50円

新佛立会館の竣工式を執行 佛立ミュージアムも開館



無事に新築を成就し竣工相成った佛立会館・宗務本庁舎

無事に新築の成就した佛立会館の竣工式が、去る五月二十三日午前十一時より、講有日誦上人導師のもと、講有日誦上人はじめ参議・最高顧問・各支庁長・宗門諸機関代表、建築施工の清水建設株式会社代表等の参列する中、執り行われた。

当日は、無始以来・如来滅後、勧請に続いて講有日誦上人が竣工式の言上を次のようになされた。「此度 本門佛立宗務本庁舎・宗務本庁舎に竣工の御礼を言上し奉る 大慈大悲大恩報謝願主 本門佛立宗務本庁舎 謹んで申すは、新佛立会館敷地内に縁無縁の諸精霊追善菩提余慶を以ては 本庁並諸機関役員・職員の間々異体同心宗務職務常精進御奉公成就なさしめ給え感応道交哀懇納受」

願わくは宗務本庁・関係諸機関 隆昌発展の御願に並びに清水建設株式会社社運隆昌発展 社員一同身体健全業務完遂の御願に感応道交哀懇納受願主 本門佛立宗務本庁舎 謹んで申すは、新佛立会館敷地内に縁無縁の諸精霊追善菩提余慶を以ては 本庁並諸機関役員・職員の間々異体同心宗務職務常精進御奉公成就なさしめ給え感応道交哀懇納受」

来る七月十五日、佛立開導日扇聖人の御祥月御命日。本山有清寺では十五日、三座にわたって御正当会が奉修される。開導聖人は、安政四年に本門佛立講をご開講せられ、高祖門祖の御正流を今の私たちに御伝え下された。お互いに、報恩の参詣をさせていただきます。

Table with 3 columns: 座 (Seating), 奉修時間 (Service Time), 奉修導師 (Service Leader). Includes details for 1st, 2nd, and 3rd seats.

佛立ミュージアム開館 佛立会館一階に誕生した佛立ミュージアムでは、その開館に当たり、記念すべき第一回のギャラリー展示を、講有日誦上人の写真展「本山の四季」の8年間の軌跡として竣工式当日より開催。また五月二十五日には、そのレセプションパーティーが開かれた。(六・七面に特集記事を掲載)



講有上人導師のもと竣工式が厳修された



305枚の入信証がお供えされた日養上人の祭壇

第17世 日養上人の御27回忌盛大にお供え教化はじめ4つの報恩ご奉公を成就

第八支庁・信廣寺(住職・姫井日覚師)では、要が、第一座を大阪良風寺・西村日要師、第二座を東京乗泉寺・川口日智上人、第三座を佛立第二十四世講有日誦上人に、それぞれお勤めいただき盛大に奉修されました。お天候は、すがすがしい初夏の陽気となり、青空の下、お参詣は全国の有縁の御教務方五十五師のご出座をいただき、参詣総数は寺内、他寺院合計二千九百三名でした。内陣の横には、日養上人のご遺影が安置された



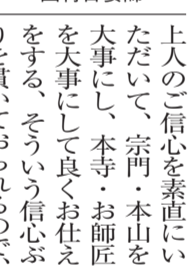
講有上人の御法門

祭壇が組まれ、一年間の報恩ご奉公の成果である入信証三百五枚がお供えされ、お焼香が始まると荘厳かつしめやかに法要が進行していきました。姫井御住職は挨拶で、報恩ご奉公の成果を次のように報告されました。①三百五十戸のお教化が五月三十日の日誦上人ご祥月ご命日に成就。②駐車場として四百坪の土地を入手。すでに購入済みであった飛び地百二十坪と、かねてからの念願だった隣地東側二百八十坪を、五月十五日に



川口日智上人

仮契約成就。③納骨堂に、雨や風雪をしのげる総ガラス張り、床面積百八平方メートルの参拝所を建築。④末寺の中で一番遠い金澤寺の、永年の念願だった隣地百十坪入手という誓願が、五月二十三日に所有者より局長へ「売ります」との連絡があり仮契約ができた。



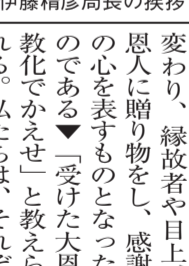
西村日要師

上人のご信心を素直にいただいて、宗門・本山を大事にし、本寺・お師匠を大事にして良くお仕えをする、そういう信心ぶりを貫いておられるので、今、ご弘通が発展し全ての事柄がうまく進んでおられるのです。お参詣の皆さんは是非、真似をさせていただきます。どうかという気持ちでお帰りいただき「ご報告」といいます」との仰せをいただきました。



挨拶・姫井日覚師

姫井御住職は「来年の門祖五〇回御遠諱に向かつて、北海道のご弘通における責務の重大さを御講有上人からは「日養上人は、一番、宗門を思い、本山を大事にし、北海道のご弘通の為にご苦勞遊ばされた御導師です。道内各寺院の方々は



伊藤精彦局長の挨拶

肝に銘じ、恩師のお徳を汚さぬよう教誨一同、異体同心で誓願達成に精進させていただきます。今後とも一層のご教導ご鞭撻をお願い申し上げます」と挨拶されました。

信廣寺教誨は、この度の報恩ご奉公を通じて、「やはり御導師の仰せの通りにさせていたただいて良かった」と素直に感得させていただくことができて、皆が喜び、感動の中で終えることができ、御正当会、日養上人御二十七回忌となりました。(文責・石岡正則)

一言 七日は「七夕」(たなばた)五節句の一つ「棚機」の日である。織姫の名にちなんで、昔は女子の裁縫の上達を願ったものであるが、最近では技芸はもとより、書道、音楽、学習全般などの願い事まで祈るようになった。色紙や短冊などに願いを書いたり、紙の星形をつるして庭に飾る。近ごろでは町ぐるみ都市ぐるみのお祭り行事になっていくところもある。とくに仙台や平塚の「七夕まつり」は全国的に有名である。この時期は中元の時期でもあるが、中元の習慣は中国に発する。正月十五日を中元、十月十五日を下元、合わせて三元とし、金品をささげて「贖罪」をする日と言われ、縁故者や目上、恩人に贈り物をし、感謝の心を表すものとなったのである。受けた大恩の教化でかえせ」と教えられる。私たちは、それぞれが、ご信心のお陰を蒙っているわけだが、その感謝の心を教化でおかえりさせていただきます。高祖の御正流である佛立宗の信心の仕方は申すまでもなく、人を助ける教化折伏の功徳を積むことにより、我が身の不幸の因である罪障が消滅され、はじめて真の幸せが得られるので、教化折伏のご奉公を喜んでさせていただきます。ご信心前になることが肝心である。今年の後半の教化運動に励み、門祖五〇の報恩ご奉公の円成を目指したい。

7月のよみ 涼が増したので奥の間の聖人をお起こし申し上げようと御枕元近くに伺うと、すでに聖人は安らかに御寝のままに遷化されておられた。時に午後五時二十五分という。聖寿七十四歳。
16日 海の日
21日 報恩抄ご撰述
27日 土用の丑の日
29日 大津ご法難
29日 開導聖人大津ご法難記念日
1日 国民安全の日 安全週間 海開き 山開き
7日 小暑 七夕
8日 十界の大曼荼羅本尊ご始願
16日 立正安国論進献
17日 佛立開導日扇聖人ご遷化
17日 佛立開導日扇聖人ご遷化
明治二十三年七月十七日、大阪玉江組の秦氏の招きにより、伏見より、玉江組で新造した三十石船にお乗りになり、下阪の途中、淀川堤の守口村森田伊六の茶屋(現守口義天寺)にお上りになり、奥座敷で暑気をさけ夕刻までご休息された。次の間にお供のものが控えてお待ちしていたが夕暮、涼が増したので奥の間の聖人をお起こし申し上げようと御枕元近くに伺うと、すでに聖人は安らかに御寝のままに遷化されておられた。時に午後五時二十五分という。聖寿七十四歳。

今月の宗門行事予定
5/6日 第二〇〇回臨時宗会
6日 京都佛立ミュージアム開館式
15日 本山有清寺開導会
29日 開導聖人大津ご法難記念日